

学校だより

実りの秋、読書の秋、勉学の秋……

灯火親しむの候

運動会も大成功の内に終了し、勉学にも力が入ってくる頃となりました。児童・生徒の皆さんも現地校と補習校の両立を期して頑張っていることだと思います。

「両立」と言うは易し、行うは難し、本人はもとよりご家族の皆さんも尽力されていると思います。必ず実を付けると確信して日々お過ごしください。

そこで、本日は子どもたちの学習の中から生まれてきた作品をいくつか紹介します。

「小4A国語の授業から」

伝え合うということを学んで

小4A 太田美礼(岡崎学級)

私は今日、ほしゅう校で、国語の時間に目が見えない事を体けんしました。ジリアンちゃんが声を出して教えてくれました。私は目をつぶって指示通りに歩き、机の上のマーカーを取り、ホワイトボードに字を書きました。目が見えないので、何が何だか分からなくなって、右左、そして、前後も分からなくなるほどでした。そして、サポートの時も何だか落ち着けず、思う通りに言えない、そして、手を使って表げんして見せたりすることができないのがとても大変でした。だから、私はずっと目が見えないじょうたいがどんなにつらいかを感じました。

私はこれから生きていく中で、つえを持っている人、もうどう犬をたよりに歩いている人、またその他のしょうがい者を見つけたら、自分でも助けられる事を進んでしなくてはならないと思いました。

点字を書いてみて

小4A 中村瑞季(岡崎学級)

点字を書くのは初めてだったので、点字を書くという授業はとても楽しみでした。

最初は点字の表さえあれば、打つのはかん単だと思っていました。

点字にはたくさんの決まりがあり、だく音はだく音の点字を清音の前に付けることなどがたく山あって難しかったです。また、うらからぎやくに打つのもむずかしかったです。他には、一度間ちがえたら直せないなので、少しドキドキしました。ふ通に文字を書くより二倍くらい時間がかかったので、少しつかれました。

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

点字を打つのは楽しかったけど、時間がかかって難しので、ふ通に文字を書く方が楽でいいと思いますが、点字もとても大切だと思います。

運動会の感想文から



つな引き

小3A 岸田紗江(安田学級)

「よいしょっ！ よいしょっ！」わたしが一番運動会で好きだったのはつな引きでした。お助けつな引きで、二年生の後に助けに行く所で、私はなんだかお姉ちゃんになった気持ちになりました。

引き分けでだったのでもう一回チャンスがあったら勝てたかも知れないのにと思ってくやしいです。

二人三脚

小3A 永田玲央名(安田学級)

ぼくは恭平さんと二人三脚をしました。いっしょに練習ができなかったのが、うまくいくかどきどきしました。二人で「いちに、いちに」と言いながら走りました。そして一位になった時はすごくうれしかったです。でも、ぼくたちのチームは最後にびりになってしまったので、くやくしておこりたくなりました。来年は勝つぞ！



勝利

小3A 矢ヶ崎彩恵(安田学級)

昨日、ほ習校の運動会がありました。まず始めに二人三脚をやりました。結果は勝ったけど、桜子ちゃん



とやったのはびりけつでした。次にチェッチェッコリ玉入れです。けっこうはずかしいダンスなのにお兄さんたちもおどっていたのがおもしろかったです。

おべんとうをたべて、お助けつな引きをやりました。

つなにむかって走る時に、いきおいがつきすぎて前の人にぶつかってしりもちをつきました。ちょっとしょくでした。まあ、楽しかったです。

小学部3年生の教室で講話をしました

10月24日(土)、第3時限目、3Cの教室に3年生全員が集合しました。そこで、私(中島校長)が講話をしました。テーマは国語の教科書にある「ちいちゃんのかげおくり」にまつわり、子どもたちに戦争の話をして欲しいという担任からの要望に応えた結果の講話となった次第です。もとより私は戦後間もない誕生であり、戦争そのものは経験していませんが、幼少時代には未だ戦争の余塵が十分に残っていました。講話の内容を少しだけ記します。



始めに、明治時代以降、日本が行った戦争について話しました。日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦、そして、今時大戦の太平洋戦争・第二次世界大戦について話しました。勿論、原爆のことについても、東京大空襲についても話しました。子どもたちからは色々な質問が出ました。どうして戦争をする事になったのか、戦争というものはどういうものか、戦争をしている時、子どもたちはどのようにしていたのか、お父さんやお母さんが亡くなって子どもだけになった子どもはどうしたのか等々、とても真剣に質問してくれました。私は戦争の悲惨さを子どもたちに話しながらも、幼少時代に体験したことをもっと何かの機会を捉えて話さなくてはならないと思いました。

講話の最後に、平和を守ることの大切さも話しました。クラスの仲間と仲良く学習活動に励むことの大切さも話しました。



中学部でも学習

過日、中学部でも国語の時間で戦争文学の学習をしていました。その際、保護者の戦争に対する思いを知って、自分の思いを深め発表する、と言うものでした。後日、担任の宗吉先生からその「保護者の戦争についての思い」の文集を見せていただきました。一言一句に平和を希求する思いが綴られていました。真に素晴らしい家庭教育の姿を見ました。また、保護者と先生が一体となって我が子、生徒の教育を展開している場面を垣間見ました。感動しました。目頭が熱くなる思いでした。もし、お許しをいただけるならこの学校便りに掲載したいとすら思いました。

病気治療中であつた仲本先生が回復され、11月7日から学校に復帰されます。古井先生には留守番先生として本当に尽力していただきました。ありがとうございました。

個別面談～保護者からの意見・質問など～④

⑧学力別クラス編成という事はできないか。

[校長]多分、ご質問の主旨は習熟度別のクラス編成をする事によって、学習展開を行えば各々の学力にあった学習が展開可能であるとの意見だと察します。現在のところ、そのようなクラス編成は考えていません。本校への入学条件は「日本語の出来るこども」を対象にし、日本での学齢期を基準にして学年・学級編成を行っています。学力のみでのクラス編成は如何なものかと思います。人間的な成長や助け合いの精神の育成など、学力差を超えた心の育成も本校教育に大切であると思っています。理解している子が分からない子に教えることによって、互いにより深く学習内容を理解することも多くあります。

⑨人間としての生き方の自覚を深めることができるような指導を希望します。

[校長]教育においては、生き方や在り方を模索する教育がとても大切なものです。単に学習事項についての知識・理解を深めるのではなく、将来、どのような人間(職業人)になるのか、なりたいのか、なれるのかなどについて、思いを巡らす事が求められます。これらの学習は一般的にはキャリア教育(進路指導)と称されるものです。特に、このご希望はまもなく、大学や社会にでる子弟をもつ高等部の保護者からのものであるだけに、切実なものであると思います。

私は、長年この領域の教育実践に関わってきました。本日31日、河島先生が都合で不在のため、高等部で「個性の発見について」の講話を行います。

◆パトロール当番予定表11月7日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小2	8	チャンドラー龍
		9	三村飛勇我
		10	園田健人
		11	河合 怜
		13	阿部慎太郎
		14	松本 峻
		15	須田遥希
★PM1リーダー	小2	16	本多紗良
		17	杉谷胡桃
		18	岩崎小春
		19	松木隆也
		21	簿 敬太
		23	原 海聖
		1	オブライエン安那夢

転入 米林理沙(小2A) 米林慧祐(小4A) 歓迎します。分からないことは聞いてください。
 転出 渡邊啓太郎(小6B) 渡邊優理(中2A) 帰国されても、ここでの思い出を大切に、力いっぱい頑張ってください。期待しています